

資料編

資料 1 サッカー場におけるリユースカップ利用データ

資料 2 音楽イベントに関するデータ

資料 3 えこまつりサポート体制検討会の実施

資料 4 リユース食器ネットワーク参加団体

資料 5 平成 16 年度リユースカップ検討委員会資料

資料 6 リユースカップ貸し出し一覧

資料 1 サッカー場におけるリユースカップ利用データ

1 - 1 2004 年度ビックアイにおけるリユースカップ利用量

開催日	対戦相手	入場者数	初回販売量			初回飲用率
			ビール	ソフトドリンク	合計	
3 月 20 日	F C 東京	19,730	1,609	1,111	2,720	13.8%
4 月 10 日	広島	17,905	1,882	1,942	3,824	21.4%
4 月 14 日	横浜 F マリノス	18,463	1,969	1,249	3,218	17.4%
4 月 29 日 パ・スロカップ	ジェフ市原	15,630	1,183	1,240	2,423	15.5%
5 月 2 日	セレッソ大阪	25,841	2,639	2,128	4,767	18.4%
5 月 15 日	ガンバ大阪	19,860	1,533	1,416	2,949	14.8%
5 月 29 日 パ・スロカップ	浦和レッズ	18,406	1,869	1,840	3,709	20.2%
6 月 12 日	アルビレックス新潟	22,468	2,692	1,647	4,339	19.3%
6 月 20 日	ジェフ市原	20,840	2,390	2,554	4,944	23.7%
7 月 24 日 パ・スロカップ	清水エスパルス	15,203	1,394	1,263	2,657	17.5%
8 月 14 日	ジュビロ磐田	28,314	4,142	5,096	9,238	32.6%
9 月 12 日	浦和レッズ	27,760	3,266	3,020	6,286	22.6%
9 月 18 日	清水エスパルス	20,063	1,948	2,176	4,124	20.6%
10 月 30 日	ヴィッセル神戸	18,364	1,515	1,811	3,326	18.1%
11 月 10 日	名古屋グランパス	14,871	1,097	1,026	2,123	14.3%
11 月 20 日	鹿島アントラーズ	27,001	1,903	2,505	4,408	16.3%
11 月 28 日	柏レイソル	29,435	2,095	2,172	4,267	14.5%
合 計		360,154	35,126	34,196	69,322	-

1 - 2 2004年度ビックアイにおけるリユースカップ回収量及び回収率

開催日	利用量（初回販売量）			回収数			回収率		
	ビール	ソフトドリンク	合計	ビール	ソフトドリンク	合計	ビール	ソフトドリンク	合計
3月20日	1,609	1,111	2,720	1,304	921	2,225	81.0%	82.9%	81.8%
4月10日	1,882	1,942	3,824	1,674	1,647	3,321	88.9%	84.8%	86.8%
4月14日	1,969	1,249	3,218	1,770	926	2,696	89.9%	74.1%	83.8%
4月29日 北スキャップ	1,183	1,240	2,423	1,083	1,067	2,150	91.5%	86.0%	88.7%
5月2日	2,639	2,128	4,767	2,271	1,812	4,083	86.1%	85.2%	85.7%
5月15日	1,533	1,416	2,949	1,402	1,223	2,625	91.5%	86.4%	89.0%
5月29日 北スキャップ	1,869	1,840	3,709	1,654	1,619	3,273	88.5%	88.0%	88.2%
6月12日	2,692	1,647	4,339	2,252	1,579	3,831	83.7%	95.9%	88.3%
6月20日	2,390	2,554	4,944	1,936	1,942	3,878	81.0%	76.0%	78.4%
7月24日 北スキャップ	1,394	1,263	2,657	1,169	1,109	2,278	83.9%	87.8%	85.7%
8月14日	4,142	5,096	9,238	3,516	4,023	7,539	84.9%	78.9%	81.6%
9月12日	3,266	3,020	6,286	3,052	2,365	5,417	93.4%	78.3%	86.2%
9月18日	1,948	2,176	4,124	1,770	1,842	3,612	90.9%	84.7%	87.6%
10月30日	1,515	1,811	3,326	1,334	1,451	2,785	88.1%	80.1%	83.7%
11月10日	1,097	1,026	2,123	922	948	1,870	84.0%	92.4%	88.1%
11月20日	1,903	2,505	4,408	1,732	2,068	3,800	91.0%	82.6%	86.2%
11月28日	2,095	2,172	4,267	1,899	1,822	3,721	90.6%	83.9%	87.2%
合計(回収率は平均値)	35,126	34,196	69,322	30,740	28,364	59,104	82.3%	79.1%	85.7%

1 - 3 大分スタジアムでのアンケート結果

アンケート結果 (2004 年 11 月 20 日鹿島アントラーズ戦にて実施、有効回答数 237)

Q1 ビッグアイにリユースカップを導入してから1年半になります。リユースカップシステムについて、どう思いますか？

賛成	(93%)
反対	(3%)
どちらでもない	(4%)
回答なし	(0%)

Q2 リユースカップシステムを継続するためにはカップの回収が欠かせません。これまでカップを持ち帰ったことがありますか？

ある	(20%)
ない	(79%)
回答なし	(1%)

Q3 Q2で「ある」と答えた方について、その理由はなんですか？

デポジット金の返金(カップ回収所)が混んでいたから	(36%)
100円のデポジットを払っているので返す必要がないと思った	(14%)
記念品として欲しかったから	(41%)
その他	(9%)

その他意見:ものめずらしさ、次の試合まとめて返却するため

Q4 同じくQ2で「ある」と答えた方にお聞きます。持ち帰ったカップはどうしましたか？

次の試合に持ってきた	(44%)
自宅で使っている	(44%)
ごみとして処分した	(8%)
その他	(4%)

その他意見:友人へあげた、記念に自宅に飾っている

Q5 リユースカップの回収率を高めるためにはどのような方法が有効だと思いますか？(複数回答可)

デポジット額をもっと高くする	(17%)
返却しやすいように返金・回収所を増やす	(68%)
返却待ちを解消するためデポジット制度をやめる	(1%)
場内スクリーンや放送で回収を呼びかけるなどのPRを強化する	(9%)
その他	(2%)
回答なし	(3%)

その他意見:ボランティアが回収に回る

1 - 4 日産スタジアムリユースカップ利用データ（2004年2ndステージ全6試合）

月日	8月21日 (日)	10月3日 (日)	10月23日 (土)	11月6日 (土)	11月23日 (祝)	12月5日 (日)	合計	平均*
対戦相手	大分 トリニータ	柏レイソル	F C 東京	ジェフ市原	アルビレックス 新潟	浦和レッズ		
試合開始時間	19 時 04 分	15 時 04 分	16 時 04 分	14 時 04 分	15 時 04 分	19 時 05 分		
天気・気温	晴・26	雨・17	曇・19	晴・21	晴・17	晴・16		
公式入場者数	17,821	21,579	24,494	20,516	27,878	64,899	177,187	29,531
使用カップ数(A)	10,073	5,155	12,473	10,930	14,638	23,279	76,548	12,758
紛失カップ数	415	100	529	600	238	1,052	2,934	489
回収カップ総数(B)	9,658	5,055	11,944	10,330	14,400	22,227	73,614	12,269
内 訳	回収所への返却 カップ(C) %	8,303 86.0%	3,704 73.3%	8,662 72.5%	7,973 77.2%	11,408 79.2%	58,357 -	78.4%
	スタンド席放置 (D) %	697 7.2%	384 7.6%	1,144 9.6%	741 7.2%	764 5.3%	6,794 -	8.4%
	ゴミ箱投棄(E) %	46 0.5%	43 0.9%	133 1.1%	68 0.7%	132 0.9%	768 -	0.9%
	売店・ゲート経由 の回収(F) %	612 6.3%	924 18.3%	2,005 16.8%	1,548 15.0%	2,096 14.6%	7,695 -	12.2%
	回収所経由カップ返却 率(C/A)	82.4%	71.9%	69.4%	72.9%	77.9%	-	75.5%
最終カップ回収率 (B/A)		95.9%	98.1%	95.8%	94.5%	98.4%	95.5%	96.3%

(C)(D)(E)(F)のパーセンテージは(B)に占める割合を表す

*回収カップの内訳比率は、合計値からの算出ではなく、各試合での比率の平均値

1 - 5 日産スタジアムにおけるごみ排出結果

月日	対戦相手	ごみ総量 (kg)	可燃ごみ (kg)	ビンカン (kg)	ペットボトル (kg)	段ボール (kg)	リサイクル率 (%)	入場者数 (人)	1人当たりの 可燃ごみ (g)	リユースカ ップ使用量 (個)
4月3日	セレッソ大阪戦	7,410	6,820	200	180	210	7.96%	22,102	308.6	
4月17日	ガンバ大阪戦	2,960	2,660	100	60	140	10.14%	20,360	130.6	
4月29日	サンフレッチェ広島戦	2,760	2,540	120	10	90	7.97%	15,665	162.1	
5月9日	ヴェルディ東京戦	2,810	2,630	110	30	40	6.41%	17,859	147.3	
5月12日	清水エスパルス戦	2,510	2,280	70	40	120	9.16%	13,554	168.2	
5月23日	名古屋グランパス戦	3,360	2,760	220	120	260	17.86%	22,011	125.4	
6月16日	サンフレッチェ広島戦	4,060	3,080	780	100	100	24.14%	14,738	209.0	
6月26日	鹿島アントラーズ戦	11,470	6,160	2,280	820	2,210	46.29%	52,961	116.3	
8月21日	大分トリニータ戦	3,340	2,290	470	310	270	31.44%	17,821	128.5	10,073
10月3日	柏レイソル戦	4,820	4,490	210	30	90	6.85%	21,579	208.1	5,155
10月23日	FC東京戦	2,570	1,780	380	170	240	30.74%	24,494	72.7	12,473
11月6日	ジェフ市原戦	3,630	3,070	200	160	200	15.43%	20,516	149.6	10,930
11月23日	アルビレックス新潟	3,560	2,160	460	160	780	39.33%	27,878	77.5	14,636
12月5日	チャンピオンシップ	14,660	12,640	780	340	900	13.78%	64,899	194.8	23,279
2月26日	ゼロックスカップ	3,140	2,220	340	100	480	29.30%	21,104	105.2	8,460
3月5日	ジュビロ磐田戦	4,970	3,950	360	300	360	20.52%	41,868	94.3	11,010
合計		78,030	61,530	7,080	2,930	6,490	21.15%	419,409	2,398	96,016
平均		4,877	3,846	443	183	406	-	26,213	150	12,002

1 - 6 リユースカップ導入前後のごみ排出量比較（実施した試合の平均で比較）

	導入前(4/3～8/8) 8試合	導入後(8/21～3/5) 8試合	比(/)
1試合当たりの可燃ごみ排出量	3,616.3 (単位:kg)	4,075.0 (単位:kg)	112.7 (%)
1人当たり可燃ごみ排出量	170.9 (単位:g)	128.8 (単位:g)	75.4 (%)
1人当たりビン缶ペット排出量	22.9 (単位:g)	21.4 (単位:g)	93.4 (%)

1 - 7 日産スタジアムでのアンケート結果

アンケート結果 (2004 年 11 月 23 日アルビレックス新潟戦にて実施、有効回答数 209)

Q1 リユースカップ(使用後返却し、洗浄後再使用する飲料容器)について、ご存知でしたか？

知っていた (66%) 知らなかった (34%)

Q2 リユースカップについて、どう思いますか？

賛成 (93%)

反対 (2%) 理由:汚い、面倒

どちらでもない (5%) 理由:衛生面が心配、人が使ったものに抵抗あり

Q3 カップの返却方法として、どのような方法が良いと思いますか？(複数回答可)

現状(ごみ箱の近くに回収所を設置)のままでよい (53%)

スタンド席に置く (18%)

ゲートで返す (26%)

その他 (3%)

その他意見:ゲートの外、スタンド出入口、いろいろな場所で、多ければどこでも良い

Q4 これまでにカップを持ち帰ったことがありますか？

ない (96%) <うち「ごみとして捨てたことがある」7%>

ある (4%)

Q5 Q4で「ある」と答えた方について、その理由はなんですか？

カップを返す場所が混んでいたから (13%)

返す場所がわからなかったから (38%)

記念品として欲しかったから (49%)

Q6 同じくQ2で「ある」と答えた方について、持ち帰ったカップはどうしましたか？

次の試合に持ってきた (38%) 自宅で使っている (38%)

ごみとして捨てた (24%)

Q7 リユースカップの回収率を高めるためにはどのような方法が有効だと思いますか？(複数回答可)

返却しやすいように返却場所を増やす (54%)

観客席の大型画面や場内放送で回収を呼びかけるなど積極的にPRを行う (25%)

デポジット(預かり金)を上乗せして飲料を販売し、返却したらお金を返す方法にする (15%)

その他 (3%)

回答なし (3%)

その他意見:マイカップの導入、今のままで良い、売り子が回収する

資料 2 音楽イベントに関するデータ

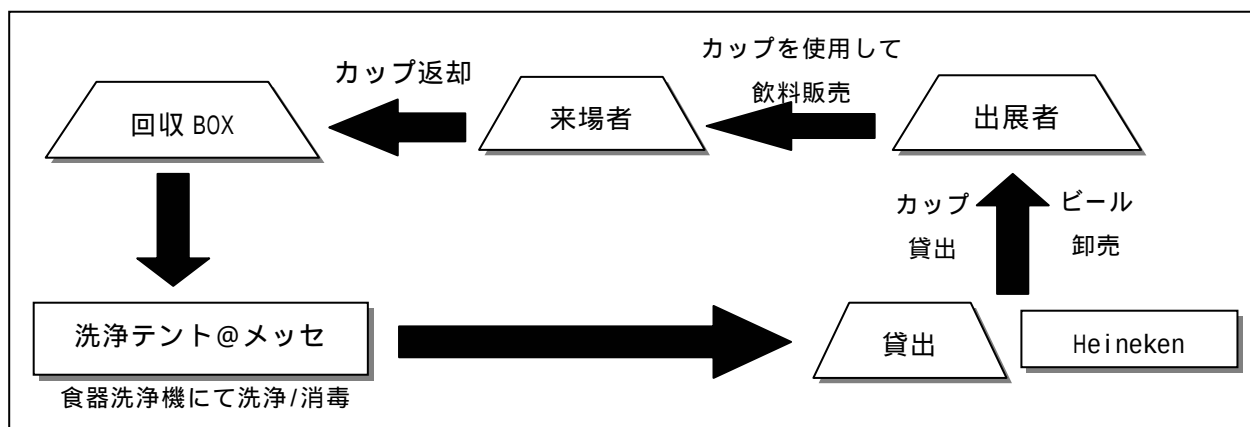
2 - 1 大規模音楽イベント概要

(1) SUMMER SONIC 04

イベント概要

名称	SUMMER SONIC04 ' (サマーソニックゼロフォー)
日時	平成 16 年 8 月 7 日(土曜日)、8 月 8 日(日曜日)
時間	開場 9:00 / 開演 11:00 / 終演予定 20:50 深夜開放 8 月 8 日早朝 5 時まで(メッセ展示ホール 1、2、3)
会場	東京：千葉マリンスタージアム、幕張メッセ展示ホール 1～6 ビーチステージ(幕張の浜：マリンスタージアム裏) 大阪：WTC オープンエアスタジアム、インテックス 4、5 ホール ZEPP OSAKA
主催	東京：テレビ朝日、ニッポン放送、J-WAVE、MTV、Bay FM 大阪：朝日放送、MTV
後援	東京：千葉県、千葉市、千葉県商工会議所連合会、ちば国際コンベンションビューロー、日本コンベンションセンター、千葉マリンスタージアム、tvk、InterFM、FM ヨコハマ、FM NACK5、ZIP-FM、Tvh 北海道「MARUOTO SUPER DELUXE」、Date fm、MUSIC ON!TV、SPACE SHOWER TV 大阪：FM802、Kiss-FM、αステーション、瀬戸内海放送、九州朝日放送、広島ホームテレビ、名古屋テレビ放送、北陸朝日放送、ZIP-FM、MUSIC ON!TV、SPACE SHOWER TV
協賛	オーディオテクニカ、evian、Heineken、HMV ジャパン、大塚食品 ポール・スミス・ジーンズ、TOWER RECORDS AIR DO、千葉そごうコリドーモール、レーベルモバイル、Calbee、ハーゲンダッツジャパン、マンダム
協力	カナダ大使館、TSUTAYA online、TSUTAYA RECORDS、グリーンタワー幕張、ESP、HURLEY INTERNATIONAL
機材協力	Apple
環境対策協力	A SEED JAPAN
収録	MTV
チケット	前売り：1 日券 13,000 円、2 日通し件 24,000 円 当日券：1 日券のみ当日販売
客層	男女比 約 5:5 年齢層 18 歳～40 歳
動員	1 日目：45,000 人 2 日目：45,000 人
企画制作/運営	株式会社クリエイティブマンプロダクション
運営協力	サンライズコーポレーション、クラブチッタ、スリーベース 近畿日本ツーリスト、440

リユースカップ導入概要



- ごみをもとから減らそうと、使い捨て紙コップではなく、洗ってイベント内で再使用する「リユースカップ」を音楽イベントとしては初の本格導入。
- 会場内に出展される 53 全ての飲食出展者がビールを販売する際に使い捨て紙コップなどの代わりに利用。
- 今回、製作したリユースカップは 22,000 個、サイズは、通常イベントで使用されている紙コップのサイズに最も近い 450ml。
- 幕張メッセ内に設置した食器洗浄機を使用して繰り返し使用。
- 紙コップ 18,100 個削減。
- リユースカップの回収率は、81.4%
- 実施運営は、A SEED JAPAN のコーディネートしたボランティアにより行う。
- ボランティアは、2～3 時間ごとのシフトで、常時約 30 人が交代をしながら、リユースカップの活動(回収・洗浄・貸出)を行った。

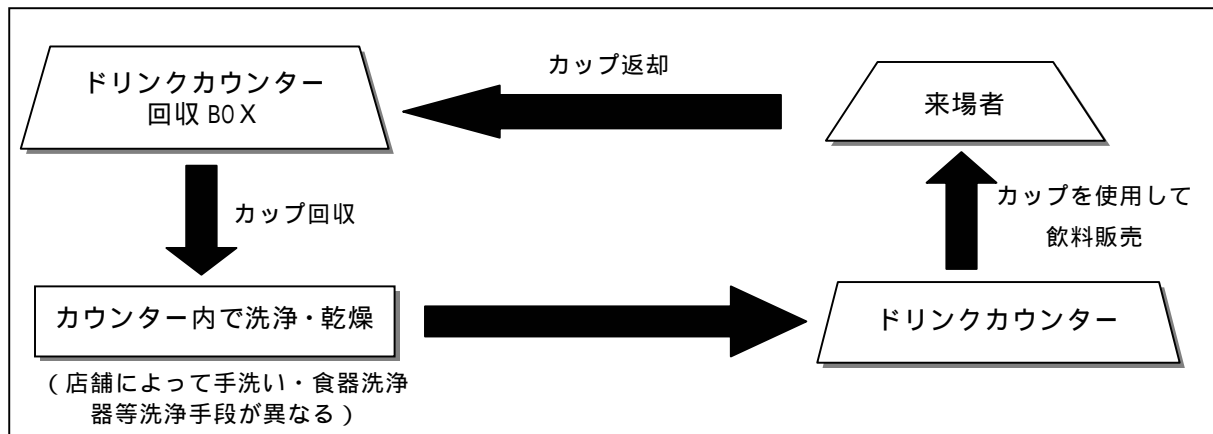


(2) in the city TOKYO 2004

イベント概要

名称	in the city TOKYO 2004
日時	平成 16 年 10 月 1 日(金曜日)～10 月 10 日(日曜日)
会場	渋谷公会堂/SHIBUYA AX/SHIBUYA BOXX/shibuya eggman/TOWER RECORDS / 渋谷 CLUB QUATTRO/SHIBUYA B1 STAGE ONE/TAKE OFF7/CHELSEA HOTEL
主催	音楽制作者連盟 / in the city TOKYO 2004 実行委員会
後援	文化庁、総務省、経済産業省、環境省、私的録音補償金管理協会 (sarah)、 日本芸能実演家団体協議会・実演家著作隣接権センター (CPRA)、日本音 楽著作権協会、日本レコード協会、日本音楽事業者協会、音楽出版社協会、 全国コンサートツアー事業者協会、音楽産業・文化振興財団、ジャパン・ ライツ・クリアランス、渋谷区
特別協力	NTT レゾナント
協力	SPACE SHOWER TV、MUSIC ON! TV、シブヤテレビジョン、TVK テレビ、TOKYO FM、J-WAVE、NACK5
環境対策協力	A SEED JAPAN

リユースカップ導入概要



- 渋谷区内で、同時に複数箇所で開催された音楽イベント。各店舗でリユースカップを使用す
- ることで、イベント全体として使い捨てによる紙コップを削減。
- イベント期間中は各店舗にリユースカップを保管。

- 洗浄・乾燥等は A SEED JAPAN スタッフと各店舗スタッフが共同で行った。
- 紙コップ 4,442 個削減、リユースカップの回収率は、96.7%
- イベント期間中は、毎日 A SEED JAPAN スタッフが 1 店舗につき 2～3 名、リユースカップの運営を行った。



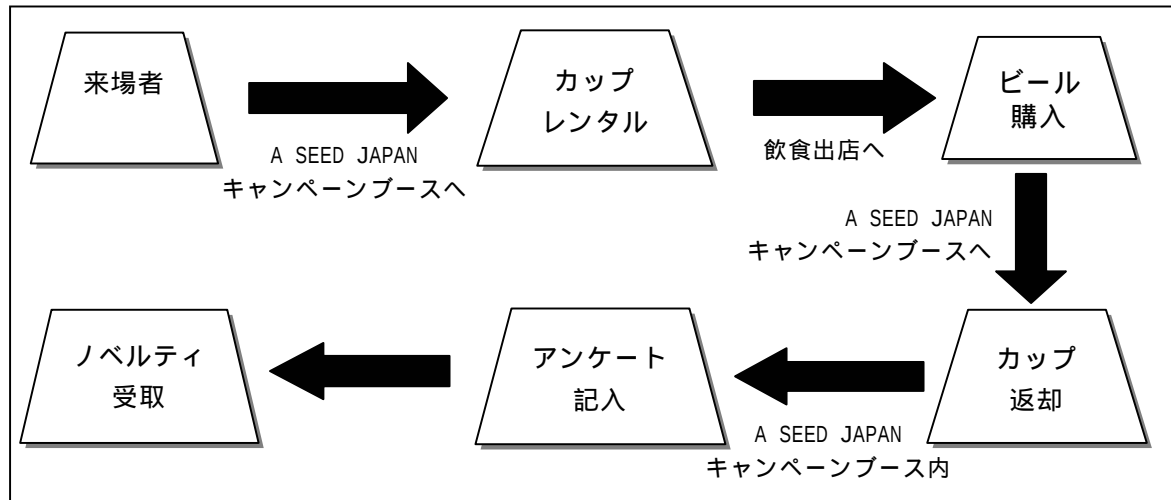
(3) SONIC MANIA 05

イベント概要

名称	SONIC MANIA 05
日時	平成 17 年 2 月 5 日(土曜日)、2 月 6 日(日曜日)
時間	開場 11:00 / 開演 13:00 / 終演予定 22:00
会場	東京：幕張メッセ展示ホール 9、10 大阪：インテックス 4、5 ホール
主催	東京：テレビ朝日、ニッポン放送、J-WAVE、MTV、Bay FM 大阪：朝日放送、MTV、FM802
後援	東京：千葉県、(財)ちば国際コンベンションビューロー、tvk、InterFM、FM ヨコハマ、FM NACK5、Date fm、MUSIC ON!TV、SPACE SHOWER TV 大阪：Kiss-FM、αステーション、瀬戸内海放送、九州朝日放送、広島ホームテレビ、名古屋テレビ放送、北陸朝日放送、ZIP-FM、MUSIC ON!TV、SPACE SHOWER TV
協賛	オーディオテクニカ、Heineken、HMV ジャパン、TOWER RECORDS、Colombia、絶対！洋楽（東京のみ）
協力	東京：EPSON、アイスフィールド、ガーデンウォーク幕張、ブレナ幕張、Hurley International 大阪：アイスフィールド、Hurley International

環境対策協力	A SEED JAPAN
収録	MTV
チケット	前売り：1 日券 10,000 円、2 日通し件 18,000 円 当日券：1 日券のみ当日販売 10,500 円
客層	男女比 約 5:5 年齢層 18 歳～40 歳
動員	東京：1 日目 8,500 人 2 日目 8,800 大阪：1 日目 5,000 人 2 日目：5,500 人
企画制作/運営	株式会社クリエイティブマンプロダクション
運営協力	サンライズコーポレーション東京、クラブチッタ、マグネットスタジオ

リユースカップレンタルキャンペーン概要



- 全面導入よりリスクが低く、啓発効果に重きを置いた「キャンペーン」形式でのリユースカップ導入を行った。
- キャンペーンの流れは以下である。
 1. カップ貸出
 - ・ カップは A SEED JAPAN キャンペーンブースにて貸出。
 - ・ 貸出口ではキャンペーン参加者数も記録。
 - ・ ただ貸すだけでなく、パネルなどを利用しての啓発活動も行った。
 2. ドリンク注文
 - ・ オーダーできるドリンクは、Heineken のビールのみとした。
 - ・ 結果的には、各出展者は、使い捨てコップ使用予定のドリンクで対応。
 3. カップ返却
 - ・ 飲み終わったら、キャンペーンブースにカップを返却。
 - ・ 返却口にて返却カップ数を記録。
 - ・ 使用済みのカップはクリアケースにまとめて保管。
 4. アンケート記入
 - ・ リユースカップを返却したら、来場者はアンケートに記入。
 5. ノベルティ贈呈
 - ・ アンケートと引き換えに、ノベルティの受け渡しを行った。
 - ・ ノベルティは TOWER RECORDS とのコラボレーションにより作成された。

品目は以下である。

—缶バッチ : 「ROCK YOUR eco MIND」のメッセージが入っている。大きさ 31mm。
作成個数約 2,000 個。

—タオル : 「A SEED JAPAN」「TOWER RECORDS」のロゴ・URL に加え、「ROCK YOUR eco
MIND」のメッセージが入っている。作成個数約 2,000 枚。

- カップの洗浄は、事前・事後共に「スペースふう」に委託。イベント中、カップは1度きりの使用とし、使用済みカップは軽く水洗いをし、現場ではクリアケースに一時的に保管した。
- 削減した紙コップ数 : 1,900 個
- 回収率 : 99.7 %
- 実施運営は、A SEED JAPAN のコーディネートしたボランティアにより行う。
- ボランティアは、2~2.5 時間ごとのシフトで、常時約 5 人が交代をしながら、キャンペーンブースの運営を行った。



2 - 2 大規模音楽イベントにおけるリユースカップ利用データ

(1) SUMMER SONIC 04

—リユースカップの使用に関する詳細

リユースカップ製作数	22,000 個	・・・ (A)
貸出数(出展者に対してのカップ貸出総数)	20,020 個	・・・ (B)
洗浄した個数	12,400 個	・・・ (C)
終了後のカップ数	16,300 個	・・・ (D)
紛失したカップの数	5700 個	・・・ (E)=(A) - (D)
カップ回収率	81.4%	・・・ (D) / (B)
紙コップ削減数(リユースカップを使用した ビールの販売数)	18,100 個	・・・ (F)=(C) + (E)
事前注文ビール発注数(出展者の事前注文し たビール販売総数)	23,430 杯相当	・・・ (G)
当日ビール販売見込数	21,087 杯相当	・・・ (H)=(G) × 0.9
紙コップ使用数	2987 杯相当	・・・ (G) - (F)

正確なビール販売数の把握は不可能なため、注文数の 9 割を実質販売数として、測定した。

不可能理由

- ・ 各出店者の売れ残り数の把握が難しい。
- ・ 各出店者の事前注文を行わずに持ち込み販売した実数の把握が困難。

—洗浄に関する詳細

	8 月 7 日	8 月 8 日	2 日間計
1 台当たり洗浄機稼働時間	13.5 時間	13 時間	26.5 時間
洗浄ラック数(個)	302	194	496
洗浄カップ数(個)	7,550	4,850	12,400
使用洗剤量			洗浄機 A : 1/3 箱 洗浄機 B : 1/7 箱

1 ラックに洗浄可能なカップは 25 個程度

—貸出に関する詳細

	メッセ	マリン	全体
貸出数	16,900	3,120	20,020

(2) in the city TOKYO 2004

	タワー レコード	エッグ マン	チェルシー ホテル	クアトロ	総計	備考
イベント間 営業日数	5 日	6 日	6 日	4 日		
貸出個数(個)	1437	833	939	1233	4442	・・・(A)
返却個数(個)	1374	817	926	1180	4297	・・・(B)
紛失個数(個)	63	16	13	53	145	・・・(A)-(B)
回収率(%)	96	98	99	96	96.7	・・・(B)/(A)
紙コップ 削減数(個)	1437	833	939	1233	4442	= (A)

(3) SONIC MANIA 05

貸出個数(個)	1,900	・・・(A)	
返却個数(個)	1,895	・・・(B)	
紛失個数(個)	5	・・・(A)-(B)	破損カップ 1 個、紛失カップ 4 個
カップ回収率(%)	99.7	・・・(B)/(A)	
紙コップ削減数(個)	1,900	・・・ = (A)	
参加者数(人)	約 1,900	・・・ (A)	複数回の参加者のため
貸出終了時間(2 日間)	15:00		在庫カップが無くなった時点で終了 開始時間は、2 日間とも 11:00

2 - 3 当日運営の作成資料（関係者向け、リユースカップ導入のお知らせ）



2 - 4 当日運営の作成資料 (来場者向け案内告知)

@A SEED JAPAN N キャンペーンブース



リユースカップを 使って オリジナル グッズをもらおう!

くり返し使えて、
地球にやさしい
カップ!!

注 リユースカップが使用できるのはビールのみです。
未成年のみなさんは、「資源分別キャンペーン」に
チャレンジ!! 同じノベルティがもらえます。

リユースカップレンタルキャンペーンの流れ



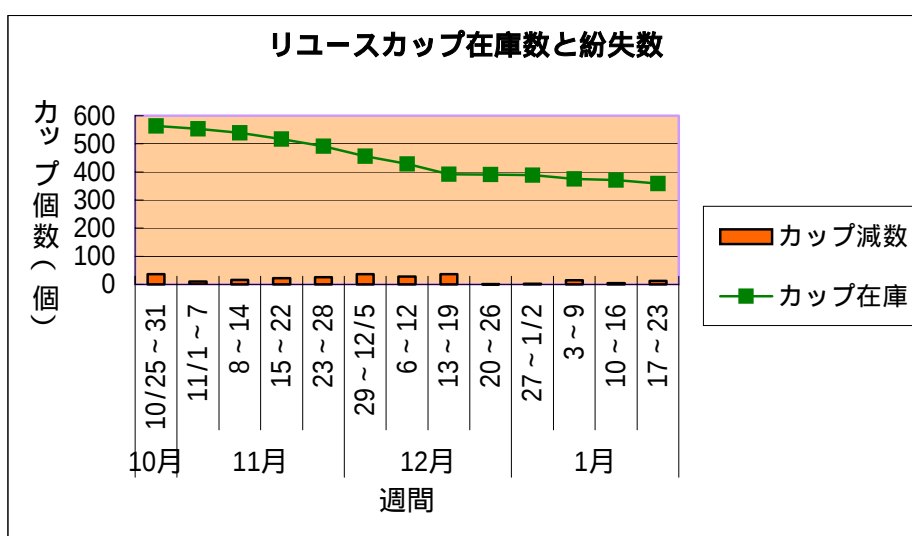
お酒は 20 歳になってから。

2 - 5 報道採録(日経エンタテインメント 2004 年 10 月号)



2 - 6 ライブハウスでのカップ在庫数と紛失数

月	週間(月～日)	ビール販売数 (杯)	カップ紛失 (個)	カップ在庫 (個)	カップ紛失率 (%)
10 月	10/25～31	840	36	564	4.3
11 月	11/1～7	800	10	554	1.3
	8～14	490	15	539	3.1
	15～22	515	22	517	4.3
	23～28	1100	25	492	2.3
12 月	29～12/5	940	36	456	3.8
	6～12	890	28	428	3.1
	13～19	1060	36	392	3.4
	20～26	500	1	391	0.2
1 月	27～1/2	1000	2	389	0.2
	3～9	520	14	375	2.7
	10～16	560	4	371	0.7
	17～23	590	12	359	2.0
3ヶ月間の総計		9805	241		2.5
平均(週間単位)		754.2	18.5		2.5
平均(月間単位)		3268.3	80.3		2.5



資料3 えこまつりサポート体制検討会の実施

3 - 1 えこまつりサポート体制検討会の実施

リターナブル容器システムの導入をいかに進め、また、普及されるような体制をいかに整えるかを大きな課題として位置づけ、京都で活躍する事業者や市民グループからメンバーを募り、全 2 回先進的な議論を行ない、課題解決に向けた研究を行ってきた。

(1) 検討会メンバー

伏水サポートネットワーク	吉村睦子さん
あけぼの保育園	関川直子さん
京都市地域女性連合会	高橋肇子さん
京都府生活協同組合連合会	高田艶子さん
京エコロジーセンター活動支援課	高田義久さん
京都市ごみ減量推進会議事務局	黒田誠一さん

えこまつりサポート体制研究会事務局(みやこのアジェンダ 21 フォーラム)
山本みか/竹村光代/狩野千明/太田航平/佐々木義仁/石原正広

(2) 検討会の目的

リターナブル容器システムの運営には人手の確保とシステム導入のためのノウハウが必要。この活動を継続的なものとするためには、備品(容器や洗浄機など)を貸し出すシステムの構築と、それを運営サポートする市民の育成が必要不可欠となる。そこで、えこまつりサポート体制検討委員は、サポート体制構築のための具体的な問題点と解決策の模索、将来性について検討を行い、具体的なシステムの構築を行なう。

第 1 回開催 議事録

- ・日時：09 月 29 日(水)13:30～15:30
- ・会場：京エコロジーセンター2F 活動支援室
- ・参加者：伏水サポートネットワーク 吉村睦子さん
あけぼの保育園 関川直子さん
京都市地域女性連合会 高橋肇子さん
京都府生活協同組合連合会 高田艶子さん
京エコロジーセンター活動支援課 高田義久さん

京都市ごみ減量推進会議事務局 黒田誠一さん

エコまつりサポート体制研究会事務局

山本みか/竹村光代/狩野/太田航平/佐々木義仁/石原正広

自己紹介（全員）

エコまつり WG の活動紹介（発表：太田）

- ・鴨川さくらまつりにおける取り組みが発端
- ・京都での大小様々なお祭りで取り組んできた（祇園、平安神宮初詣...）
- 実施体制は様々、お祭りで出るごみのほとんどは容器ごみ
- ・祇園祭の山鉾巡行の引き手への給水に 1200 個のカップを使用
- 後始末をどうする？手間とコストが問題。
- ・課題は「人材不足」と「貸し出す仕組み（コスト等）」
- 対策を行なうことによるメリットが今は見えない
- ・パッカー車は 1 台あたりでの金額なので、多少のごみ減量はコスト削減につながらない

夏祭り@パセオダイゴローの報告（発表：吉村さん）

- ・醍醐女性会とアルプラザ、パセオダイゴローによる企画
- ・最初は全体からのデポジットに対する抵抗
- 実際にやってみたらスムーズにいった
- ・今年は 28 個紛失、デポジット金 900 円残った
- 残り 17 個の行方が不明、仲間内で使いまわしていた分か？
- ・ごみは 1/3 に減った
- 使い回せば環境負荷的にも紙コップより低い（LCA より）
- ・リターナブルにかかるお金をどうするか？
- 数万円でもキツイ、毎年予算化することは必須
- ・貸出、運搬費用をどうするか？
- なるべく価格を押さえなければ導入は難しい

夏祭り@あけぼの保育園の報告（発表：関川さん）

- ・昨年はエコまつりワーキンググループの協力で食洗機 & 容器搬入、
- 洗浄で温くなったコップにジュースを注ぐことが不評だった
- ・子供が持ちにくいとの声を受けて、一部紙パックのジュース使用
- ・今年は自前の食洗機 + 借りた容器、瓶のジュース使用
- 割れることが何回かあった、ラッパ飲みする人にはコップが不要だった
- ・瓶にしたなら、あまりフタ付きコップは使用されなかった

- ・独自のアンケート回収(全体の 15%)
- 「箸と容器持参したい」「容器売りしたら?」「瓶とコップの兼ね合いが課題」
- ・お客に事前にすすいでもらう作業がよかった
- 後で洗う側、回収する側として楽

NEXT STEP

課題の洗い出し

- ・容器を返却する時に、中身が残ったまま返却があった
- ・手洗いは大変、かつ熱湯消毒が必要→食洗機はその点楽、課題は運搬
- ・祭りがブッキングした場合、実行委員会が道具等持っている場合
- ネットワークの整備や連絡用窓口が必要
- ・小さいお祭り(市民祭り) 大きいお祭り(用意した受け皿)
- 要は住み分け、使い分け

ネットワーク、サポート体制構築に向けての意見交換

- ・女性会 高橋さん：主催団体のお偉いさんが却下したらそれでおしまい。
毎年一年スパンで動くとお金がプールできない。
「容器を買う」ぐらいな形でしか現状では無理。
- ・生協 高田さん：メニュー、容器、分別、様々な取り組みがある中で、
アイディアマン養成、えこまつり実施について考える、
呼びかけをしていくことはよいことだ。
ただしそれはリターナブルありきではない。
- ・伏水 吉村さん：新参加者が実行委員会に入り込んでいくことは難しい
- ・女性会 高橋さん：自分達ができることのヒントを得るために「えこまつりのすすめ」を使ったくらい。
- ・太田：えこまつり認証制度のようなものがあればどうでしょう？
または養成講座で地域の祭りに提案していける人を育てたい。
養成講座は環境、ごみへらしに関心のある人を呼びたい。
コストはその次の話。対策として運搬用の車を作ることは有効。
- ・生協 高橋さん：マニュアルに従った作業はできるが、
主体的に動けるかどうかと言われると難しい
- ・太田：イメージとして「当日理解して手伝ってくれる人」を増やしたい
- ・生協 高田さん：来年度春までの体制作り、事務局の整備、
そこからさきの情報発信(先、方法)が必要ですね
市民的にはせいぜい最高 1 万円ぐらいじゃないと無理
- ・太田：CSRの流れから企業協賛、行政のサポートが不可欠
私達がテーブル作りをするなかで企業が行政が関わり、
システムや人材を輩出する流れと作って行きたい

- ・伏水 吉村さん：個別学習会をこまめに開催していきましょう

えこまつりピラの説明、各団体に持ち帰って配布してもらおうお願い

本会議では、えこまつりサポート体制を構築するにあたって、各団体からお一方お招きし、具体的な検討を行なった。認識の統一を計るためにも、これまでの取組みを詳しく説明し、各自がどのような認識を持っているのかを共有。また、それぞれが出来そうなことを具体的に上げて頂いた。その結果、事務局となるような基盤の整備を前提として、そこにメンバーとして入って頂き、各団体において、できる範囲での普及に務めることに終始した。また、養成講座的なものを実施することで積極的に関わっていきたいという意向が分かった。しかし一方で、各団体が主体的に動けない現状があるので、そのあたりを考慮したうえでの構築となることが分かった。

第 2 回開催 議事録

- ・日時：平成 17 年 2 月 15 日（火） 15：00 ～ 17：00
- ・場所：京エコロジーセンター2F 活動支援室
- ・参加者：京エコロジーセンター活動支援課 高田義久さん
京都市ごみ減量推進会議事務局 黒田さん
えこまつりサポート体制研究会事務局
山本みか/竹村光代/狩野千秋/太田航平/佐々木義仁/石原正広

< えこまつりサポーター養成講座 >

（ 目的 ） 具体的な体制の構築

● 3 段階で構成

事前勉強会

- ・えこまつりについての説明や活動内容の紹介
- ・食器洗浄機の実演

実際の現場での活動

現場で活動をした参加者との振り返り

- ・講座のどこがいけなかったか？
- ・今後どのような講座にしていけばよいか など

（ 課題点 ）

- ・参加者が少なかった
- ・そもそもサポーターとは何か。
- ・「養成講座」という名前は適切かどうか。
- ・具体的対象の不明確さ 続けていくことで体制が出来上がってくるだろう。

- ・ 広報が良くなかった。
- ・ 地域の方が参加してくれるには。

大切な点 = これからも持続的に参加してくれること

そのためには・・・
（ ・ 興味・関心を持ってくれる
・ 地域にリユースシステムを広げていく

来年度以降も開催していきたい

< 運搬車について >

- 今まで・・・ 備品の運搬は運送業者に頼んでいたもので、費用がかかり困難。
（ ex. 3 万円ほど ）
 - ・ 小さな祭りでは負担大
 - ・ 頻繁に使う

車購入決定

- 車のラッピングのデザインは GK 京都に依頼
- 名前は「環境対策支援便 RE - ECO」 RE - ECO は車の愛称
環境対策（主にリユースシステム）を導入します。
（ 具体的な対策をお届けします ）
人とノウハウで車は生きてくる → 京都の特徴
ex. 仙台・ワケルモービル → 使う人・運用方法のノウハウが少ない。

[車貸出の料金設定]

市民の祭りでは 1 万円くらいしか出せない。

しかし、事業を続けていくためには、日々の車・洗浄機・メンテナンス等で費用がかかってくる。1 日 5 万 5 千円（1 人の人件費含）

- 値段が高すぎるのでは？ → この値段でないと続けていけない。
 - * 昨年までは
 - ・ 京エコロジ・センターの補填（アジェンダのえこまつりワーキンググループの社会実験として）
 - ・ 地球人間環境フォーラムとの共同事業 など

があり、来年度からはなるべく自立した形での運用を目指したい。

↓

事業として続けていくためにはこのくらいかかってしまう。

- 事業内容
（ ・ 食器洗浄機の貸出
・ 環境対策委託
の 2 本立てを予定。

< エコセン 平成 17 年度事業・食器貸出事業（案） >

（ 高田さん ）

- （ ・ 容器貸出制度
- ・ 洗浄機貸出制度 を平成 17 年度では行う予定。
- 対象・・・行政等の事業者が行うイベントを除く市民対象の祭り
- 開始時期は 5 月一臂から。4 月中にパンフレットを作成。
- 容器は無料で貸し出す。但し、1 種類あたり 200 個（枚）まで。3 種類まで OK！
- 週に 1 日、返却と貸出の日を決める。
- 保証金については検討中。
- エコセンとしては容器貸出制度に力を入れたい。→ 普及・啓発に努めていく。
- 広報は早く始めたい。市民新聞等で。
- 事業自体はエコトーンに委託の形を取る。

[洗浄機貸出制度について]

- 公募選考・・・洗浄機貸出制度は年間の件数を決める。（運搬費等がかかるため）
申し込みは先着順。
- 貸し出すの対象の規模は 1 回あたり 500 食以上の祭り / イベント
→ それ以下なら手洗いを。
- エコセンから補助金を出す。
（内訳：1 回あたり 6 万円 → エコセン：4 万円、あとの 2 万円は主催者負担）
→ 選考から外れても行いたい場合は主催者が全額負担してもらう。

（ 問題点 ）

- ・ 先着順
- ・ 市民系まつりと事業系まつりの区別
- ・ 容器をどのようにしたら今まで以上に使ってもらえるようになるのか。
= 他団体に何をサポートできるのか。
明確に説明できるもの（使う人の立場に立った利用書）が必要。

（ ごみ減：黒田さん ）

- ・ 使いやすくてよいもの / システムは紹介していきたい。
具体的なもの（リースレット・チラシ）等がほしい。→ できたら紹介していく。
- ・ 今の現状ではワーキンググループに他地域や団体に入ってもらうことは難しい。

（ ごみ減は可 ）

えこまつりワーキングでは入ってもらわなくても意見 / 情報だけでもほしい。

< 今後の方向性 >

- どうしたら参加してもらえるようになるか？は今から考えること。
今までは組織の中で何ができるかを考えてきた。
- 今までのワーキンググループで行ってきたことは、主にリユースだけだった。
今年からはお祭りの評価基準（エコまつりとはどこからか。）他を研究していく予定。
- ワーキンググループをチームに分けて、検討していく。（タスクを作る。）
- 実際の活動を知ってもらうため、さくら祭りの見学会を作ろう！

本会議では、次に記す「エコまつりサポーター養成講座 vol.1」の開催報告からはじまり、

この間の動きの共有、そして、京都ラジオカフェ（株）と地域環境デザイン研究所 ecotone の共同事業「環境対策支援便 RE-ECO」について発表を行なった。前回の会議時に課題として残った、情報共有及び発信の受け皿は「京のアジェンダ 21 フォーラムエコまつりワーキンググループ リユース食器タスク」が担うことになり、検討会メンバーにリユース食器タスクに入って

引き続き研究協力をして頂くこととなった。これからの課題として、受け皿は整ったが、いかに人員を確保するかが大きなテーマとなった。エコロジ・センターやごみ減量推進会議内での位置づけの提案を含め引き続き検討していきたい。

3 - 2 エコまつりサポーター養成講座の実施

課題の一つである「地域の人材の育成」を行なうために、「エコまつりサポーター養成講座」というタイトルで、段階的な講座を開催した。これらの開催は今回が初めてであり、試行的な部分が強く残ったが、来年度につながる結果と課題が抽出された。

(1) プログラム

STEP1 「エコまつりを知ろう！」

日時 第1回 10月23日（土）13:30～15:30

第2回 11月13日（土）13:30～15:30

場所 京エコロジセンター 活動支援室

内容 京都の動きから全国の動きまで、「今」のお祭り／イベントと環境とのつながりを説明。食器洗浄機の実演。

STEP2 「実践してみよう！」

第1回

日時 11月23日（火）

場所 山科区中央公園

イベント名 山科“ふれあい”区民祭り

第 2 回

日時 12月11日(土)

12日(日)

場所 パルスプラザ

イベント名 京都環境フェスティバル2004

内容 資源の分別回収とリターナブル容器システムを実践

STEP3 「実践を振り返ってみよう！」

日時 12月18日(土) 13:30～15:30

場所 京エコロジーセンター 活動支援室

内容 実践から感じた課題と解決策を出し合う。反省会

(2) 参加者

25 名

(3) 講座のステップを進行しながらの変更点

お手伝いいただける方々(サポーター)を募集しても人は集まらなかった。参加して下さったメンバーは、サポーターよりも「えこまつりとはどういうものか」「これから自分で何かできないだろうか」というような企画主催を行いたい人ばかりだった。

そこで、内容をコーディネーター養成に変えて行った。

(4) 反省会で参加者からでた意見

前準備について

- ・もっと活動風景を見せるべき。
- ・返却場所がわかりにくい。アピールの仕方要検討。
- ・参加日の日程によっては前準備(食洗機の設置等体験など)に関われなかったのが残念。

作業について

- ・容器が足りなかった。経験で数が予想できないか。
- ・どこの店が容器が足りないか把握する人が必要。
- ・コーディネーターへの連絡手段(トランシーバー)

後始末

- ・どう動けばいいかわかりにくかった。
- ・最後に数えることを知らされてなかったのに手間取った。
- ・一覧表で管理、容器の箱に工夫するなど方法はないのか。

資料4 リユース食器ネットワーク参加団体

- ・ NPO 法人・環境り・ふれんず（北海道）
北海道札幌市西区宮の沢一条 1 丁目ちえりあ 1 F
tel 011-671-4153 / fax 011 - 671-415 / mail : recycle-hp@sapporo530.or.jp
URL: <http://www.sapporo530.or.jp/araeru/araeru.htm>
- ・ 仙台市 葛岡リサイクルプラザ（宮城県）
宮城県仙台市青葉区六字葛岡 57-1
tel 022-214-8230 / mail : kan007220@city.sendai.jp
URL: <http://www.gomi100.com/>
- ・ ネットわーく福島潟（新潟県）
新潟県新潟市大久保 34-1
tel 025-387-2528
- ・ 環境 NPO 良環（新潟県）
新潟県三条市元町 17-13
tel 025-632-3771 / mail: recycle@ginzado.ne.jp
URL: <http://www.ginzado.ne.jp/~recycle/index2.htm>
- ・ エコネット上越（新潟県）
新潟県上越市高土町 1-9-7
tel 025-527-3616 / fax 025-522-8241 / mail: econet@mx1.avis.ne.jp
URL: <http://www.ginzado.ne.jp/recycle/index2.htm>
- ・ ベアーズ ファーム（新潟県）
新潟市西堀前通 6 番町 894-1 西堀 6 番館ビル 3 F 新潟市市民活動支援センター内
tel 090-1121-3820 / mail : asaro.takemae@toppan.co.jp
- ・ リユース・くらぶ・にいがた（新潟県）
新潟県新潟市坂井東 6-12-40
tel 025-260-4750
- ・ NPO 法人 スペースふう（山梨県）
山梨県南巨摩郡増穂町天神中条 177
tel 0556-22-1150 / fax 0556-22-1862 / mail fuu@office.email.ne.jp
URL <http://www.ne.jp/asahi/fuu/up/>
- ・ (財) 地球・人間環境フォーラム（東京都：兼事務局）
東京都港区虎ノ門 1-18-1 虎ノ門 10 森ビル 5 階
tel 03-3592-9735 / fax 03-3592-9737 mail info@reuse-network.jp
URL : <http://www.gef.or.jp/reuse/>

- ・ **A SEED JAPAN (東京都)**
東京都新宿区新宿 5-4-23
tel 03-5366-7484 / fax 03-3341-6030 / mail LIVEECO@gomizero.org
URL: <http://www.gomizero.org/>
- ・ **日産スタジアム/財団法人横浜市スポーツ振興事業団 (神奈川県)**
横浜市港北区小机町 3300
tel 045-477-5008 / e-mail mi01-uchiyama@yspc.or.jp
URL: <http://www.hamaspo.com/stadium/>
- ・ **デボネット三重 (三重県)**
三重県四日市市山之一色町 1123 ふうる・あんふあん内
tel 0593-33-6909 / fax 0593-33-6909 / mail taiyo@cty-net.ne.jp
- ・ **環境対策支援便 RE-ECO (京都府)**
京都府京都市下京区五条通堀川東入ル中金仏町 215-6 増田屋ビル 3-D
tel 075-254-8556 / fax 075-254-8556 / mail info@radiocafe.jp
URL <http://www.radiocafe.jp/>
- ・ **(財)千里リサイクルプラザ研究所 (大阪府)**
大阪府吹田市千里万博公園 4-3
tel 06-6877-5300 / fax 06-6876-0530 / mail h-ohsawa@sutv.zaq.ne.jp
URL <http://www.infomart.or.jp/kurukuru/index.htm>
- ・ **茨木市環境教育ボランティア (大阪府)**
大阪府茨木市美穂ヶ丘 19-C-406
tel 072-626-4992 / fax 072-626-4992 / mail bando-atuko@hcn.zaq.ne.jp
- ・ **NPO 法人 タブラ ラサ (岡山県)**
岡山県岡山市柳町 1-4-8-603
tel 086-223-6550 / fax 086-233-6550 / mail nporasa@mac.com
URL <http://www.nporasa.com/>
- ・ **立命館アジア太平洋大学 環境サークル ones' 1 (大分県)**
大分県別府市十文字原 1-1 立命館アジア太平洋大学
tel 090-1345-2488 / mail ayumisu3@apu.ac.jp
URL <http://www.apu.ac.jp/circle/ones-1/>
- ・ **那覇市リサイクルプラザ アースの会 (沖縄県)**
沖縄県南風原町字新川 641
tel 098-889-5396 / fax 098-835-6253 / mail earth-family@tontonme.ne.jp
URL <http://a-sunokai.hp.infoseek.co.jp/>

資料 5 平成 16 年度リユースカップ検討委員会資料

平成 15 年度に引き続き、16 年度の検討会委員は以下の通りである。

平成 16 年度リユースカップ検討委員会

【委員（五十音順）】

飯田 広太郎氏	エームサービス（株）関連事業本部長補佐
岡田 達雄氏	グローバル・スポーツ・アライアンス常任理事
長谷部 和子氏	（株）テムス社長
羽仁 カンタ氏	A SEED JAPAN 理事
藤井 和貴氏	Zepp Tokyo 支配人
古谷 伸比固氏	名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室室長
金丸 敦氏	三井物産（株）リサイクル・環境ビジネスチームリーダー （金丸敦氏 / 三井物産（株）リサイクル・環境ビジネスチームに交替）
山本 みか氏	ユニバーサルユース研究会代表
松谷 昭氏（座長）	環境カウンセラー全国連合会顧問

【事務局】

佐藤 敦志	エームサービス（株）プロジェクト開発部マネジャー
平野 喬	地球・人間環境フォーラム専務理事
加子 隆一郎	地球・人間環境フォーラム企画調査部研究員
平本 雅彦	地球・人間環境フォーラム企画調査部研究員
坂本 有希	地球・人間環境フォーラム企画調査部研究主任
大河内 淑恵	地球・人間環境フォーラム企画調査部研究員
天野 路子	地球・人間環境フォーラム企画調査部研究員

第 1 回 （2004 年 7 月 22 日 14：00 - 16：00）

【議事次第】

大規模施設スポーツ施設での利用

- ・ 大分
- ・ 横浜

音楽シーンでの利用

- ・ 「Summer Sonic 04」
- ・ LIVE ECO プロジェクト

地方イベントでの利用

- ・ 自治体による貸し出し、ゲシルモービル貸出事業
- ・ 各種イベントへの導入結果、今後の予定
- ・ 三重県鈴鹿サーキット内プールでの実証事業

リユース食器ネットワーク立ち上げについて

その他

【出席者】

（委員）

飯田 広太郎氏	エームサービス（株）関連事業本部長補佐
長谷部 和子氏	（株）テムス社長
羽仁 カンタ氏	A SEED JAPAN 理事
藤井 和貴氏	Zepp Tokyo 支配人
古谷 伸比固氏	名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室室長
金丸 敦氏	三井物産（株）リサイクル・環境ビジネスチームリーダー （第2 回以降、金丸敦氏 / 三井物産（株）リサイクル・環境ビジネスチームに交替）
山本 みか氏	ユニバーサルユース研究会代表
松谷 昭氏（座長）	環境カウンセラー全国連合会顧問

（オブザーバー）

小紫 雅史氏	環境省循環型社会推進室 室長補佐
福澤 謙二氏	環境省循環型社会推進室 循環計画係長
吉田 元氏	環境省循環型社会推進室 環境専門員
太田 航平氏	NPO 地域環境デザイン研究所 Ecotone 代表
金子 悦子氏	A SEED JAPAN ゴミゼロナビゲーション事業部

（事務局）

平野 喬、坂本 有希、大河内 淑恵（地球・人間環境フォーラム）

資料6 リユースカップ貸し出し一覧

地球・人間環境フォーラムからの貸し出し

	イベント名	日時	場所	貸出個数	返却個数	利用 頻度	洗 浄 方 法	返 却 啓 発 手 段	回 収 方 法	利 用 者 の 反 応	開 催 者 の 反 応
1	環境省みどりの日「環境功 労者表彰式典レセプショ ン」	2004/4/29	新宿御苑	150(PEN250)	150(PEN250)	a	b	a	b	a	a
2	南ぬ風人まーちゃん島おこ しライブ	2004/5/7	沖縄 西表島	330 (PP650ml) 330 (PP560ml)	289 (PP650ml) 293 (PP560ml)	a	b	a	a	b	a
3	芙蓉保育園春バザー	2004/5/22	横浜市芙蓉保育所	150(PP650ml) 200(PEN250ml)	145(PP650ml) 200(PEN250ml)	a	d	b	b	b	b
4	オールソフィアンの集い 2004	2004/5/30	上智大学四谷キャンパス	250 (PP560) 300(PEN250)	250 (PP560) 294(PEN250)	a	d	b	a, c	a	a
5	エコライフフェア	2004/6/5-6	東京渋谷区代々木公園	280(PP420)	267(PP420)	b	a	b	a	b	a
6	子供地球環境教室	2004/6/13	鶴見リサイクルプラザ	10(PP560)	10(PP560)	c	b	a	c	a	a
7	「米の精」で育てた完熟梅 収穫体験会	2004/6/19	和歌山県日高郡 永井農園	20(PP650)	20(PP650)	a	b	d	c	a	a

8	『注文で作る』出版記念会 (障害者座居保持装置普及 のための集い)	2004/6/26	サンシャイン 60 内ホール	150(PEN250)	150(PEN250)	a	b	a	b	b	a
9	横浜私立大学ピアガーデン	2004/6/29, 7/2	横浜私立大学	250 (PP420) 250(PEN250)	241(PP450) 243(PEN250)	b	c	a, d	a, c	a	c
10	国立環境研究所 夏の大公開	2004/7/24	国立環境研究所	998(PEN250)	978(PEN)	b	c	d	b	a	a
11	国立環境研究所 互助会パーティ	2004/7/30	国立環境研究所	600(PP650)	587(PP650)	a	d	a	a	a	
12	国立環境研究所 CGER ピアパーティ	2004/8/4	国立環境研究所	100 (PP650)	99(PEN650)	a	d	d	b	a	a
13	真夏のサンパフェスタ イン ちくら 2004	2004/8/7	千葉県千倉漁港	504(PP650) 675(PP560) 250(PP420)	443(PP650) 613(PP560) 242(PP420)	a	a	a	d	a	
14	第 3 回 スーパーロック:よ さこい祭り	2004/8/8	千束通り商店街	1000 (PEN250)	1000 (PEN250)	a	b	a	b	a	a
15	緑園なえば保育所 納涼会	2004/9/4	緑園なえば保育所	50(PP560) 400(PEN250)	50(PP560) 399(PEN250)	b	d	a	b	a	a
16	苗場保育園バザー	2004/9/12	苗場保育園	300(PEN250)	293(PEN250)	a	c	b	a	a	a
17	新事務所お披露目会	2004/9/16	Think the Earth プロジェク ト・スペースポート事務所	33(PEN250)	33(PEN250)	b	a	d	b	a	a
18	白い森音楽祭 2004	2004/9/19	山形県西置賜郡 白い森リフレ	272(PP420)	253(PP420)	a	b	b	b	b	b

19	詩展「SHIAWASE～詩居合わせ～」	2004/10/1-3	原宿竹下 st. Gallery Hasegawa	50(PEN250)	50(PEN250)	b	a, b	a, d	c	a	a
20	中野まつり	2004/10/2-3	JR 中野駅北口広場	300(PEN250)	300(PEN250)	b	b	b	b	b	b
21	第 13 回町田ごみフェスタ	2004/10/3	町田リサイクル文化センター	300(PEN250)	300(PEN250)	a	e	b, d	a		
22	すみたくなるまちづくり全国交流大会 全国まちづくりメッセ	2004/10/9-10	福井市下六条・県産業会館	253(PP420) 200(PEN250)	186(PP420) 189(PEN250)	b	a, b	b	b	a	a
23	第 10 回日本微生物株保存会議 (ICCC10)	2004/10/10-15	つくば国際会議場エポカル	1089(PEN250)	924(PEN250)	b	d	a	c	a	a
24	江東区民まつり	2004/10/16-17	都立木場公園	1(PP420) 1(PP400)	1(PP420) 1(PP400)					a	
25	2004 津島産業フェスタ	2004/10/23-23	津島市天王公園	400(PP560)	388(PP560)	c	b	d	b	a	a
26	「くらしと共生を考えるつどい」	2004/10/31	群馬県伊勢崎市昭和町	500(PP650)	478(PP650)	a	b	d	a	a	a
27	「白金祭」企画「日本おかし話」	2004/11/1-3	明治学院大学	40(PP650) 40(PEN250)	40(PP650) 40(PEN250)	a	a	a	b	b	a
28	戸塚芙蓉保育所 芙蓉保育園作品展及び秋バザー	2004/11/3	新沢池公園	149(PP560) 201(PEN250)	149(PP560) 201(PEN250)	a	d	d	b	b	b
29	幕張海浜公園まつり'04	2004/11/7	千葉県立幕張海浜公園 DE ブロック	100(PP560) 80(PEN250)	98(PP560) 76(PEN250)	b	b	b	b	b	c

30	浜大祭	2004/11/5-7	横浜市立大学 八景キャンパス	1000(PP650) 788(PEN250)	992(PP650) 821(PEN250)	b	c	b	a, b	b	a
31	松風座 弁土付無声映画 上映会/弁土ワッセ	2004/12/3	弁天通り内 大連寺本堂	160(PEN250)	159(PEN250)	a	b	a	b	b	b
32	社内サロン	2005/1/26	ユナイテッドアローズ社内 サロン	40(PP420)	40(PP420)	a	a	a	a	b	a
33	全国都道府県及び政令指 定都市等環境担当部局長 会議	2005/1/21	合同庁舎 5 号館	500(PP650)	497(PP650)	a	d	a	a	b	b
34	「フォーラム 気候の危機」 発足シンポジウム	2005/2/16	東京都庭園美術館	250(PEN250)	250(PEN250)	a	a	a	a	a	a
35	新潟中越地震チャリティ イベント in 代官山	2005/2/19	代官山 MONKEY GALLERY	200(PEN250)	200(PEN250)	a	b	a	b	a	a
36	「スローフード・スローライフ 展にいがた 2005」	2005/3/4-6	新潟県朱鷺メッセ	600(PEN250)	584(PEN250)	b	c	a	b	a	a
37	Re-Style LIVE Vol.2	2005/3/10	ZEPP TOKYO	300(PEN250)	300(PEN250)						

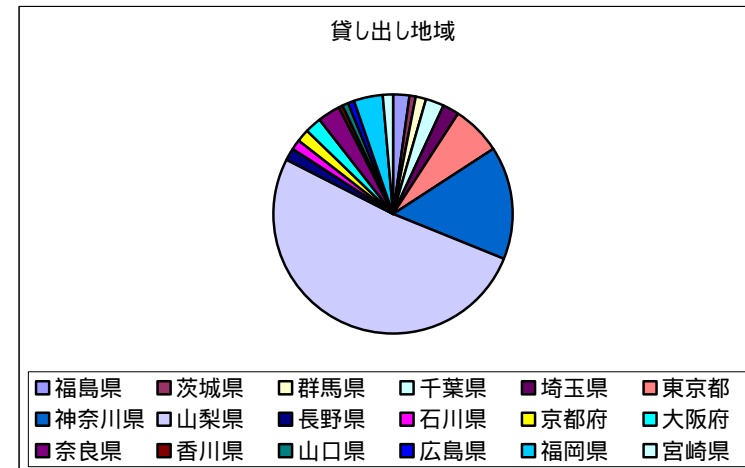
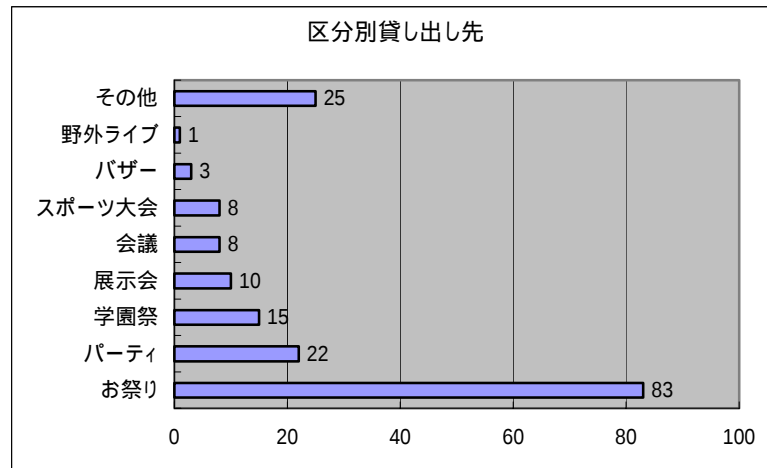
利用頻度:	a) 1回使い切り、 b) 何度も使いまわし、 c) その他
洗い方:	a) 会場にて手洗い、 b) 開催前後に別の場所にて手洗い、 c) 会場にて機械洗浄、開催前後に別の場所での機械洗浄、 d) その他
返却を啓発するためにとった手 段:	a) 説明のみで自主性に任せた、 b) デボジット、 c) 返却協力に対する特典、 d) その他
回収方法:	a) 返却場所を特別に設置し、利用者がそこに返却、 b) 飲料を提供した場所(店など)へ利用者が返却、 c) その他
利用者の反応:	a) 好評、 b) 特に違和感もなく反応もなかった、 c) 不評
開催者の反応:	a) 好評、 b) 特に違和感もなく反応もなかった、 c) 不評

NP0 法人 スペースふう（山梨県）からの貸し出し

< 利用イベント例 >

2004 年 9 月 3 日	SunSet Live2004（福岡県）
2004 年 11 月 7 日	幕張海浜公園まつり ' 04（千葉県）
2004 年 11 月 20 日	増穂商業高校学園祭（山梨県）
2004 年 11 月 23 日	金の星幼稚園バザー（神奈川県）
2005 年 1 月 30 日	山梨ゆめ・ふじ国体（山梨県）
2005 年 2 月 13 日	アジア太平洋みどりの京都会議 2 0 0 5（京都府）
2005 年 3 月 6 日	地球市民フェスティバル（福島県）

< 区分別貸し出し先 >



千里リサイクルプラザ（大阪府）からの貸し出し

< 利用イベント例 >

2004 年 4 月 2～4 日	鴨川さくらまつり	（京都府）
2004 年 5 月 4～5 日	環境エキスポ 2004	（大阪府）
2004 年 7 月 24 日	穂積地区夏祭り	（大阪府）
2004 年 8 月 2 日	BIG BBQ	（京都府）
2004 年 8 月 8 日	大阪大学工学部音楽会	（大阪府）
2004 年 8 月 24 日	池田市民カーニバル	（大阪府）

